第138号
昭和36年10月1日
昭和29年10月15日
第三種郵便物認可
毎月1日発行
定価1部3円

10月のこよみ
◇共同募金運動（10月～12月）
◇目の愛護デー（10日）
◇この子達の親を探す運動（4日～11月8日）
◇国民体育大会秋季大会（8日～13日）
◇読書週間（27日～11月9日）
◇国際連合の日（24日）
◇結核予防週間（25日～31日）

広報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人
荘司忠一
文進堂印刷所
全世帯配布

人口127,278人
男 62,907人
女 64,371人
世帯 27,156
9月1日現在

桜井地区に県立工業高校
電子工学など四科
本年度から三カ年計画で

県では、工業の躍進に伴い工業技術者を急速に増加する必要に迫られている現下の情勢に対処するため、さる二月工業高校四校の新設を発表しました。

その工業高校の一つが小田原市にも新設されることになりましたので、小田原市並びに足柄上、下両郡の各町では、理事者をはじめ、議会、教育委員会などが協議して、さる二月二十三日に「西湘地区県立工業高校建設期成会」を結成し、市内の桜井地区に敷地を求むべく買収交渉を行なうなど受け入れの準備を進めてまいりました。

その結果、地元協力会の熱心な協力と、関係地主の深い理解とにより、このほど小田急線栢山駅から東、約八百㍍の酒匂川沿いに四万九千五百平方㍍（約一万五千坪）の用地がきまりました。

そこで期成会では、今後小田原市及び足柄上、下両郡各町の負担金七千万円をもつて用地買収、整地及び通学道路などの整備を急ぎ、一日も早く県が校舎の建築にかかれるよう、さらに努力を続けることになりました。

一方県では、本年度から三カ年にわたり約四億六千万円を投じて校舎の建築工事を進める計画です。

なお、校名は期成会の希望どおり、九月二十七日開かれた県教育委員会会議で「神奈川県立小田原城北工業高校」ときまりました。

消防長に二見衡平氏

市では昨年九月から病気のため休職中の荻窪消防長の休職期間が一年を経過したので、さる九月十二日付けで次のように消防長の更迭を行ない、新消防長にこれまで消防長代理をつとめてきた二見衡平氏を任命しました。

消防司令長　荻窪幸六
小田原市消防司令長に任ずる。
小田原市消防本部付を命ずる。
消防司令　二見衡平
小田原市消防司令長に任ずる。

二見新消防長は市内桑原の出身で、町当時常設消防部が発足した昭和五年に消防手を拝命以来在職三十一年におよぶ豊富な消防経験をもち、これまで消防本部次長や消防長代理という要職を歴任し、現在消防署長を兼務しております。

火災の電話は……一一九
報知
問い合わせ
消防本部　四九一九
消防署　二四五一
北分署　四〇二四
西分署　八七五二
東分署（国府津）五四〇

秩父宮妃殿下、天守閣などご視察

九月二十四日実業団・学生対抗陸上競技大会にご臨席の秩父宮妃殿下は、競技ご観戦のあい間に星崎記念館と天守閣をご視察になりました。

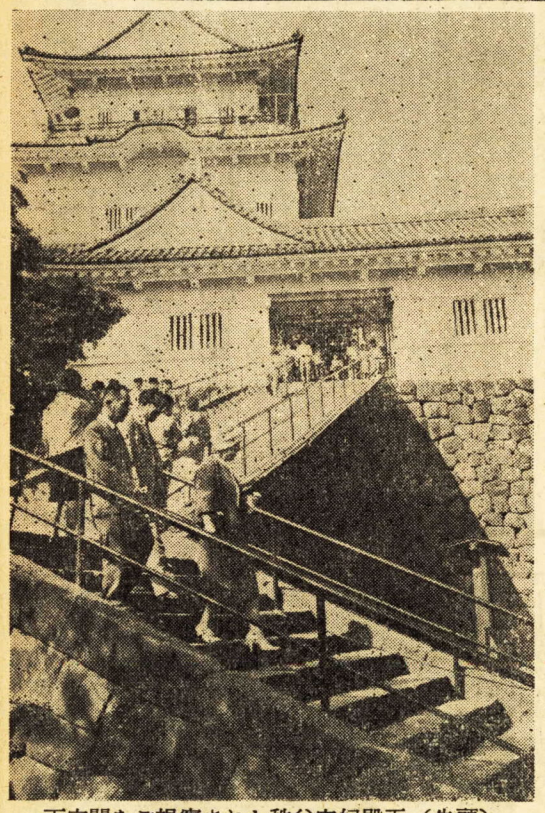
午後零時四十分市営城山陸上競技場から星崎記念館にお着きになつた妃殿下は、石井図書館長のご案内で、こども科学室に陳列されている創意工夫展と科学展の作品やこどもクラブで行なわれていたアマチュア無線の実技をご覧になりました。

同館でご昼食をとられた妃殿下は、午後一時三十五分天守閣にご到着、約三十分間城内をご覧になりました。

城内では曽我総務部長、桜井経済部長、中野社会教育課長、竹中天守閣事務所長等に天守閣の建設経過や小田原城の歴史、箱根物産の概要等をお尋ねになつておりました。

特に四階の展望台では、市街や老松の美しさをおほめになつていました。

また妃殿下は競技場へお帰りの際石段のところで足をおとめになり、今から十一年前子供文化博覧会のとき、お出でになつたころの象の梅子さんがすつかり大きくなつたのを感慨深げにご覧になつておられました。


天守閣をご視察された秩父宮妃殿下（先頭）

相次ぐ工場誘致
市内高田に三共有機

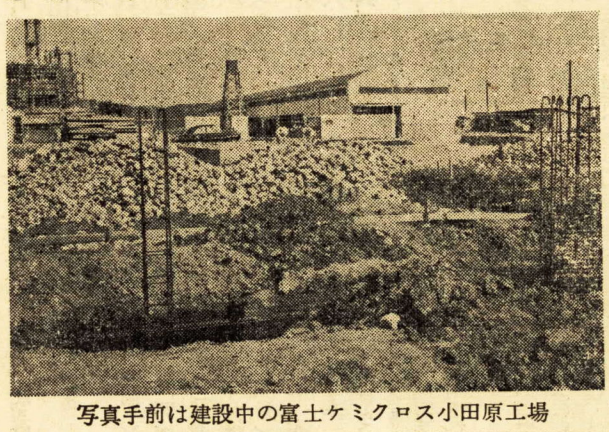
豊富で良質な水と交通至便という立地条件に恵まれた本市への工場進出は、ことしになつてすでに日立ランプほか三社を数え、うち二社が工場建設をはじめるなど、ますます活発化してまいりましたが、このほど市内高田に三共有機合成株式会社の誘致がきまりました。

今回誘致が決定した三共有機合成株式会社（系列は三共株式会社）は、本社を川崎市にもち、資本金五千万円、塩化ビニール用安定剤及び糖類注射液の生産会社です。

同社では、すでに高田字桜町と竹橋に六万六千百十六平方㍍（二万坪）におよぶ敷地の買収契約が完了したので土地、建物及び機械その他の設備を含めて約三億五千五百万円で近く工場建設に着手し、明後年の春には操業をはじめる予定です。

なお、この三共有機を加えて昭和二十七年以来の本市の誘致工場は十四社、ことしになつて五社となりました。

会社（本社京都市）の誘致も現在進められております。


写真手前は建設中の富士ケミクロス小田原工場

国保だより

病気により世帯主の一部負担を軽減
国民健康保険法の一部改正

国民健康保険法の一部が改正され、十月一日から実施の運びとなりました。

国民健康保険の被保険者のうち世帯主が、結核性の病気や精神障害、またはこれが原因ではかの病気を併発したり、あるいは負傷して医師の診断や治療を受けたり、入院した場合に、いままでは一部負担金として医療費の五割を支払つていたわけです。

ところが今回の改正により十月一日から医師に支払う一部負担金は三割ですむようになりました。

あとの七割は保険者である市からその医師に支払うことになるわけです。

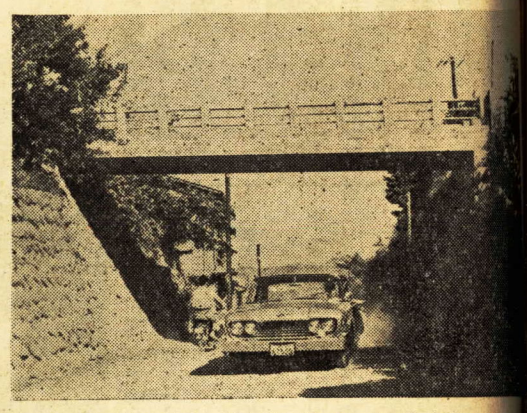
なお、国民健康保険以外の社会保険等に加入している家庭の世帯主は、この適用を受けないのは当然ですが、その家族のなかに国保の加入者がいて、結核、精神障害等の病気になつた場合は、国保の世帯主でないため、やはりこの適用が受けられないことになつております。

これは法律改正の趣旨が一家の収入の基である世帯主を守ろうとすることによるためです。

山手橋が完成

谷津切りとおしの陸橋山手橋はいままで木橋でありましたが、このほど地元の協力により鉄筋コンクリートの立派な永久橋になりました。

この山手橋は長さ二一㍍、幅員四㍍、工費一一〇万円で、橋としてはあまり大きいものではありませんが、道路の上にかかる陸橋では市内でも珍しいものです。


写真は完成した山手橋

中小企業に年末資金を融資

市では市内中小企業者に年末資金を融資するため、小田原信用金庫に資金一千万円を預託いたしましたので、融資を希望される方は同金庫の貸付係にご相談ください。

同金庫が年末資金として、中小企業者に融資する総額は七億円で、その内訳は一般資金（同金庫の手許資金）五億円、県預託資金分一億円、市預託資金分一億円となつておりますが、貸付利率、取り扱い期間及び返済期限等は次のとおりです。

◇貸付利率
一般資金　二銭六厘以内
県、市預託資金　二銭五厘
◇取り扱い期間
昭和三十六年十月一日から同年十二月十五日まで
◇返済期限
昭和三十七年二月十日

近年にない好成績
プール、ボート場の売り上げ

ことしは春から気候が順調に進んだ上に、夏になつて雨が少なく猛暑が続いたため、海水プールやボート場の売り上げは近年にない好成績でした。

海水プールの売り上げは、七、八月の二カ月間で、昨年より約十九万円も多い百二十一万六千八百四円を記録し、その内訳は御幸の浜九十九万六千八百三十七円、国府津二十一万九千九百六十七円となつております。

またボート場の売り上げは、四月から八月までの四カ月間で、昨年度より約十二万七千円を上回る六十五万三千八十六円に達しました。

みんながしあわせに
共同募金
10月1日から
共同募金会小田原支会

急ピッチで進む

国鉄新幹線工事

明年夏にはモデル線で試運転開始の見込み

国鉄では、昭和三十七、八年ごろ行きづまる東海道線の輸送難打解策の一つとして昭和三十四年度から工期五カ年、総工費一、九七二億円をもつて東海道新幹線の建設に着手しましたが、工事はすでに二年を経過し、目下東京、大阪間の約三分の一にあたる区間で、トンネルの掘さく、橋りようの架設及び路盤工事などに重点を置き、急ピッチで進められております。

特にモデル線区である綾瀬～小田原間の工事は、このところめざましい進ちよくぶりを見せ、明年夏ごろには平塚市の馬入川以西から本市の富士フィルム小田原工場付近の間で、試運転が開始される見込みとなりました。

そこで本市内における新幹線の工事概要と、その進ちよく状況を見てみましょう。

小田原市内の工区は四つに分かれ、延長は橋町境（弁天山トンネル）から真鶴町境（南郷山トンネル）まで約十六キロにおよんでおります。

◇一工区

まず橋町境から酒匂川左岸（相模建材）まで約四・二キロの区間では、弁天山トンネル（延長一、三一七㍍）の掘さくをはじめ、大同毛織から鴨宮駅付近までの高架（延長一、三〇〇㍍）のほか、路盤（延長二、二〇〇㍍）及びカルバートボックス（はと型暗きょ、十五カ所）の建設工事などが、明年二月末の完成をめざして進められており、九月十日現在における工事進ちよく率は約六〇％におよんでおります。

特に国府津弁天山トンネルの掘さくは、一分間八トンの水がわき出るなど難工事にもかかわらず、すでに小田原側から七〇〇㍍、橋町側から一六〇㍍まで進められております。

また軌道基地になる鴨宮駅付近では目下路盤工事が行なわれておりますが、来春には検車庫等の建設がはじまる予定です。この区間の工事請負費は約十四億円です。

◇二工区

酒匂川左岸から早川（丸上農協）まで約四・三キロの区間では、すでに酒匂川橋りようの橋台九基の建設を完了し、目下小峯トンネル（延長七六七㍍）の掘さくや路盤工事のほか、早川右岸では一部高架の建設が進められており、現在工事の進ちよく率は約二〇％です。

酒匂川橋りようのけたがけ（延長四四〇㍍）工事は、近く着工の見込みですが、早川には橋台四基をもつて延長一二〇㍍の橋りようが架設されます。

このほか、小田原駅裏（延長二八〇㍍）と小峯トンネル以西（延長七三〇㍍）は、高さ六～十二㍍の高架になりますが、新小田原駅は駅裏の高架建設が完了次第、直ちに着工される模様です。

またこの区間に設けられるカルバートボックスは十カ所です。

工事請負費は約九億七千万円が見込まれ、完成予定は明年末となつております。

◇三工区

早川から米神まで約三・二三六キロの区間では、すでに石垣山（延長一三〇㍍）、石橋山（延長八六四㍍）、米神（延長一四九㍍）など三つのトンネルの掘さく工事を完了し、目下昭和三十八年四月の完工をめざして不動山トンネル（延長一、一九五㍍）の掘さく工事が進められております。

またこの区間には石垣（延長九二・七四㍍）、石橋玉川（延長一〇八・八六㍍）及び米神石水川（延長三八・八三㍍）の三カ所に橋りようが架設されるほか、早川地区にはカルバートボックス（一カ所）が設けられます。

さらに早川木地挽付近は高架（延長七四・八一㍍）になり、残余の区間は路盤となります。

工事進ちよく率は現在二五％で工事請負費は約十一億円になる見込みです。

◇四工区

米神から真鶴町境の南郷山トンネルまで約四・二キロの区間では、すでに片浦トンネル（延長一、二六〇㍍）が約四八％、南郷山トンネル（延長五、一六〇㍍）が小田原側から約四〇％まで、それぞれ掘さくされております。

この区間に設けられる橋りようは白糸川に一カ所（延長二五㍍）だけで、路盤工事は約二〇〇㍍となつております。

現在までの工事進ちよく率は約四〇％で、工事請負費は約十五億円、完成は明後年の二月が予定されております。

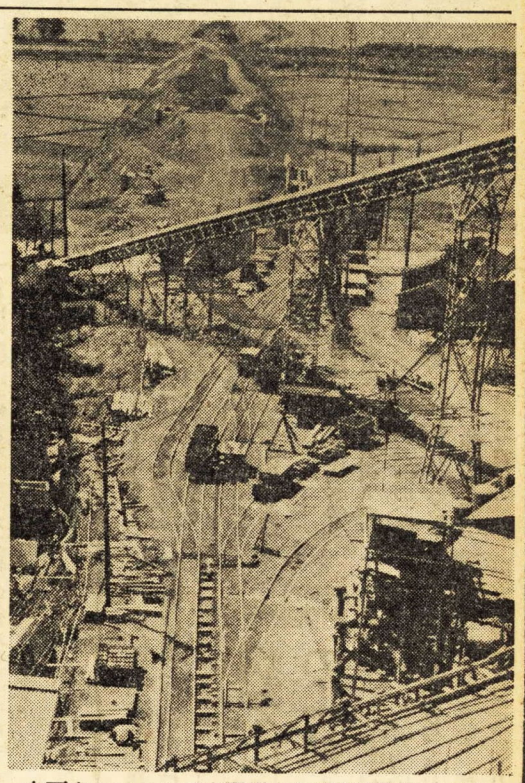
◇　◇　◇

以上は現在進められている本市内の新幹線工事の概要と、その見とおしでありますが、新幹線全区間の工事が今後順調に進めば、オリンピックの開催される昭和三十九年度には東京―大阪間五〇〇キロを旅客列車で三時間、貨物列車で五時間半という超スピードで走る東海道新幹線がお目見得します。

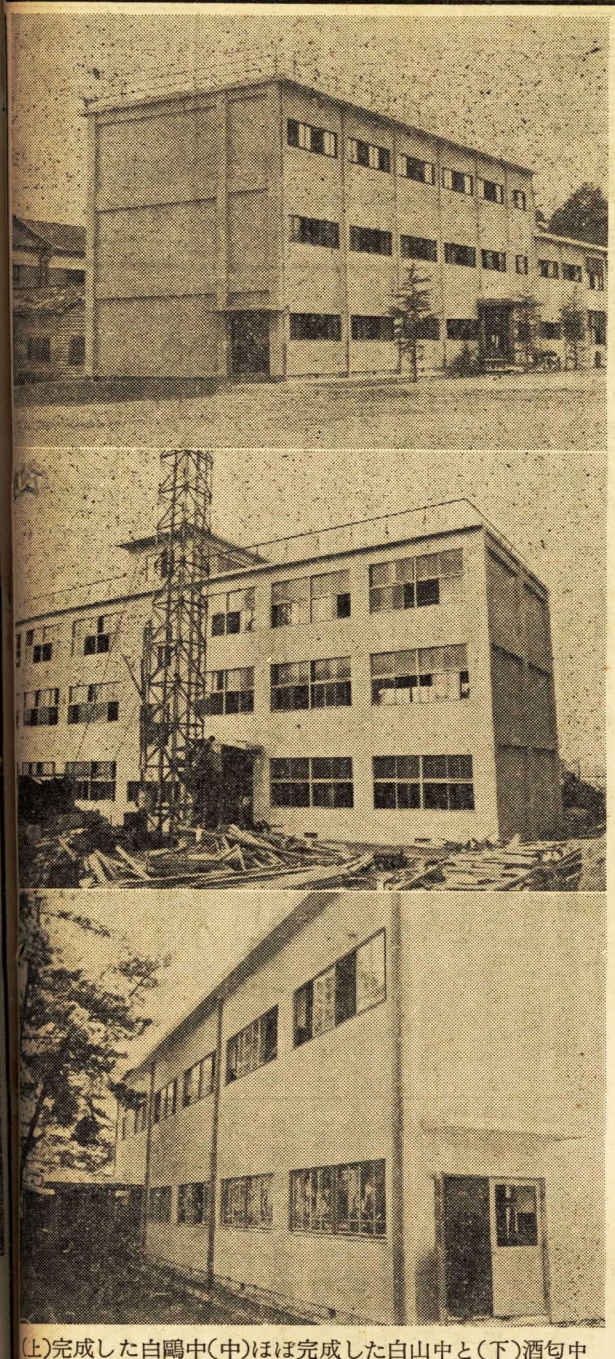
これに伴い輸送力は現在の三倍に強化され、沿線都市はもちろん国民経済、文化の発展に大いに貢献するものと考えられます。

特に中間駅の設置が決定した本市は、県西における観光、産業、文化、交通の一大中心都市としてその飛躍的発展が十分期待されます。

なお、市ではこの新幹線工事の着手に伴い、昭和三十四年秋には「東海道広軌新幹線対策委員会」を設置し、高架、路盤の決定、市道、用排水その他の問題につき、国鉄当局と密接な連絡をとつて協議を進めております。



弁天山トンネル工事現場から鴨宮方面をのぞむ



（上）完成した白鷗中（中）ほぼ完成した白山中と（下）酒匂中

城山、白鷗中が完成

なお今月中には四校も

中学生急増対策工事

市では、昭和三十七年度を最大の山とする中学生の急増に対処して、昨年度末から城山、白鷗、白山、酒匂の各中学校の増築と城南中学校の新築工事を進めておりますが、これら五校のうちすでに城山及び白鷗中学校の増築工事をとり了し、目下白山、酒匂、城南の三校の工事を急いでおります。

増築工事完成の城山中学校は、鉄筋三階建、三教室と便所、渡り廊下を合わせて延面積二三三・二三四平方㍍、工費五二三万七千円。また白鷗中学校は、鉄筋三階建、六教室で延面積六六五平方㍍、工費一、〇七五万二千円ですが、いずれも二学期から使用されております。

一方工事の最終段階にはいつた白山（鉄筋六教室）、酒匂（鉄筋四教室）中学校の増築工事は、すでにコンクリート打ちを終了し、目下内部の仕上げが急がれており近く完成の見込みです。

また城南中学校（鉄筋五教室）の第一期新築工事は、すでに三階までのコンクリート打ちを完了し、現在鉄製窓わくの取りつけ、内部の床はりが行なわれており、十月末にはできあがる予定です。

このほか市では、さる七月から工費二一八万円をもつて千代中学校（木造二階建、二教室）の増築工事にとりかかり、目下十月末の完成をめざして工事を急いでおります。

なお、これら工事のうち城山、白鷗、白山、酒匂の四校の増築工事は、急増対策として、国庫補助約一、四〇〇万円に起債、市費を加えて昨年度末に三十六年度の繰り上げ工事として着手されたものです。

給食施設が完成

＝芦子小学校＝

かねてより改築中であつた芦子小学校の給食調理場、宿直室並びに用務員室がこのほど完成しました。

この工事の完成に伴い同校では、早速九月の二学期から新しい調理場を使用して、児童約九二〇名の給食を行なつております。

改築された給食調理場は、鉄筋コンクリートブロック積み平家建で、これに鉄骨造りプラスチックけ渡し場がついて、延面積九七・一〇九平方㍍。また宿直室、用務員室は木造平家建厚型スレートぶきで渡り廊下を含めて、延面積は七〇・六〇〇平方㍍です。

総工費は二五四万四千円（電気、ガス等の付帯工費を含む）で、その財源内訳は県費補助が一九万八千円、市費二二四万六千円、地元寄付一〇万円となつております。＝写真は完成した芦子小

建設だより

◇中久野舟原線道路改良工事
＝久野地内＝
（工事概要）
退避所新設　延長三〇㍍
石積工　一三六・三平方㍍
着工九月二十日、完成予定十月末日
工事費四九万五千円

◇根府川学校道線道路災害復旧工事
＝根府川地内＝
（工事概要）
土止石積工
上段石積　延長一四・九㍍　面積四四・六平方㍍
中段石積　延長一三・四㍍　面積五六・三平方㍍
下段石積　延長一〇・九㍍　面積八一・八平方㍍
着工九月二十一日　完成予定十一月二十一日
工事費八二万八千円（うち国庫補助六六・七％）

◇久野坊所線道路災害復旧工事
＝久野坊所地内＝
（工事概要）
土止石積工
上段石積　延長一三㍍　面積五二・〇平方㍍
下段石積　延長一八・五㍍　面積八八・一平方㍍
着工九月二十日　完成予定十月三十日
工事費五六万円（国庫補助六六・七％）

◇坊所川河川災害復旧工事
＝久野坊所地内＝
（工事概要）
護岸練石積工
右岸延長一一・八㍍　平均法高三・三㍍　面積三九平方㍍
着工九月二十一日　完成予定十月末日
工事費一七万八千円（国庫補助六六・七％）

◇菊川河川災害復旧工事
＝曽我大沢地内＝
（工事概要）
護岸練石積
左岸延長九二・五㍍　平均法高二・五㍍　面積二二九・五平方㍍
着工九月二十日　完成予定十一月二十日
工事費九四万円（国庫補助六六・七％）

◇多古坂下線道路改良工事
＝久野坂下地内＝
（工事概要）
道路拡幅工　延長二〇九㍍　幅員六㍍（従来三㍍）
石積工二六七・四四平方㍍
道路横断水路工三二㍍
着工九月二十日　完成予定十月末日
工事費一三一万円（県費補助三分の一）

◇市営野球場入口天守閣広場線道路舗装工事
＝城址公園内＝
（工事概要）
アスファルトコンクリート舗補
延長二三〇㍍　厚さ五センチ
幅員四～六㍍
工事費一二七万円
九月十五日完成

◇下水道第四、五、九、十

排水路（雨水処理）工事
（工事概要）
㋑第四工区緑中新馬場線（汚水処理）＝新玉地内＝
ヒューム管埋設　内径七〇〇ミリ　延長三八四・七㍍
工事費七〇六万円（国庫補助三分の一）
完成予定十一月末日
㋺第五工区大新馬場線（汚水処理）＝新玉地内＝
ヒューム管埋設　内径六〇〇ミリ　延長二二〇㍍
工事費三四九万四千円（国庫補助三分の一）
完成予定十二月十日
㋩第九工区小田原足柄線（汚水処理）＝新玉地内＝
ヒューム管埋設　内径五〇〇ミリ　延長二八七・五㍍
工事費四一一万六千円（市単独事業）
完成予定十一月末日
㋥第十工区小田原足柄線（汚水処理）＝新玉地区＝
厚型陶管埋設　内径二五〇ミリ　延長一〇五・三㍍
工事費八九万四千円（市単独事業）
完成予定十月十五日
㋭谷津駅裏排水路（雨水処理）＝緑地内＝
ヒューム管埋設　内径一、二〇〇～一、〇〇〇ミリ　延長一八〇・七㍍
工事費三八一万八千円（市単独事業）
完成予定十一月中旬

図書の虫ぼし

休館のお知らせ
10月3日～10月8日
市立図書館・児童文化館

陸海空自衛官募集

受付　10月31日まで
資格　18歳以上25歳未満
詳細は市役所庶務課

市長、最高齢者を訪問

各地で演芸会や温泉招待

＝としよりの福祉週間＝

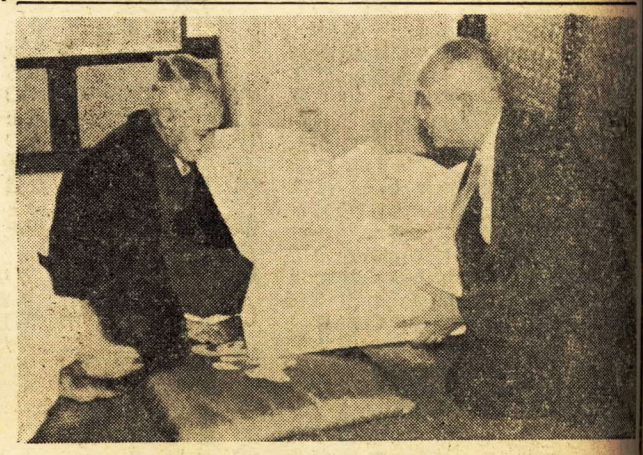
さる九月十五日から二十一日までの七日間にわたる「としよりの福祉週間」には、全国各地でいろいろな敬老行事が実施されましたが、小田原でも九月十日の下府中地区敬老会を皮切りに、月末まで市内各地で演芸会や温泉への招待など、おとしよりを慰める諸行事が催されました。

市ではこの週間を記念して、満七十七歳以上の高齢者一、三八四人に市長のお祝いのことばに添えて、紅白のおまんじゅうをお贈りしたほか、九月十五日現在で満七十七歳になられた方と、七十七歳以上の方で今までの敬老行事において市から記念品を受けなかつた方々二四二人には、九谷焼きふた付き湯のみ茶わんを贈呈しました。

また七十七歳から七十九歳までの六、一七人には一千円、八十歳以上の七六七人には二千円の敬老祝金をお贈りしました。

特に九月十五日の「としよりの日」には、鈴木市長が市内在住の最高齢者である十字の川本伊三郎さん（98歳）と板橋の荻野キンさん（96歳）を訪問して、記念品の毛布を贈り、その長寿をお祝いしました。

なお市では各地区で行なわれる敬老行事のため、七十歳以上の高齢者三、八四一人に対し、一人百円の割合で委託料を交付しました。



としよりの日に最高齢者の荻野キンさん（96歳、板橋在住）を訪問し、その長寿をお祝いする市長

秋の味覚

みかんの出荷はじまる

九月下旬から相模湾に面した片浦地区で、わせみかんの出荷がはじまり、早くも段ボール十五キロ入りで八百円から二千二百円の高値を呼んでおります。小田原みかんは、箱根外輪山東南面と、こゆるぎ丘陵一帯から生産され、神奈川みかんとして国内や海外市場において、その味覚ともちの点で好評を博しております。

ことしの生産高は昨年の一、二割減の約二万五千トンが予想されておりますが、十月下旬から十一月下旬にかけては収穫の最盛期となります。

江之浦地区におけるわせみかんもぎ

作品に進歩のあと

『創意工夫展と科学展』

市主催の「創意工夫展」と教育研究会主催の「科学展」が、さる九月十五日から十八日までの四日間、城内小学校講堂で開かれ、連日小、中学生や父兄の参観者でにぎわいました。

出品作品は、創意工夫展が二五一点（小学生一九三、中学生五八）、科学展が四二八点（小学生三〇一、中学生一二七）で、児童生徒が夏休みを利用して行なつた自然の観察記録や生物の研究作品のほか、自分達の日常生活からヒントを得て科学的に作つた工作品などがたくさん出品されました。

特にことしの科学展では、グループ研究で優秀なのが目立ちました。

生物研究などでは、形態面から一歩進んで生態や生理面の研究にはいつた作品もあり関係者の注目を集めました。

なお、これら出品作品のうち優秀なものは引き続き九月二十五日まで星崎記念館に展示されましたが、二十四日実業団、学生対抗陸上競技大会へご臨席の秩父宮妃殿下は、同記念館にお立寄りの際、これらの展示作品を熱心にご覧になりました。

おもな入賞作品は次のとおりです。

◇創意工夫展

◎小学生の部

（優秀賞）○ちようちんおんどしらべ　湯山康子（酒匂小二年）　○火星の昆虫　剣持研二（同小国府津小三年）剣持研二（同小一年）　○のれん　古川幸秀（城内小四年）　○べんりなごみ取り　高田尊千代（新玉小五年）

（優良賞）○ほんちようまる　平井健司（本町小一年）　○携帯用本立　稲津敏行（富水小一年）　○ようさし　府川通也（桜井小二年）　○ふうりん　合田瑞穂（片浦小二年）　○山あらし　剣持京一（国府津小三年）　○ライス受け　青木由美子（片浦小四年）　○牛乳びん受け　中林修一（山王小四年）　○教育玩具計数器　伊東義曜（国府津小五年）　○野良帽子　中島初江（富水小五年）　○夜間用はきもの　小沢昭二（城内小六年）　○ハンカチ靴下入れ　窪倉道子（山王小六年）

◎中学生の部

（優秀賞）○高所の画鋲打器　星崎照喜（鴨宮中三年）

（優良賞）○植物の生長計　野地昭（国府津中一年）　○鉛筆のしんとぎ機　高橋徹（白山中二年）　○高い窓の窓ふき機　山田敏雄（鴨宮中三年）　○水位計　加藤光弘（千代中三年）

◇科学展

（教育委員会賞）

◎小学生の部

○なつやすみにたべたくだものたね　さとうしんいち（城内小一年）　○大豆のそだち方　込山芳範（芦子小二年）　○虫めがねと温度計　石井佐代子（下府中小三年）　○バラのある植物　近藤良行（久野小四年）　○ありの観察　長橋副克（下府中小五年）　○甲虫類の研究　野地賢二（国府津小六年）

◎中学生の部

○昆虫標本　浦井雅臣（城山中二年）　○沿岸定置観測　亀田隆之外四名（城南中二年）　○酒匂海岸の動物植物　酒匂中科学部（二年）

（教育研究会賞）

◎小学生の部

○きせつのこよみ　石井孝光（千代小一年）　○油はなぜ水にうくか　田代瑞枝（町田小二年）　○飼育箱で　剣持京一（国府津小三年）　○かいこの観察　（桜井小二年）　○ようさし　府川通也　合田瑞穂（片浦小二年）　○山あらし　剣持京一（国府津小三年）　○ライス受け　青木由美子（片浦小四年）　○牛乳びん受け　中林修一（山王小四年）　○教育玩具計数器　伊東義曜（国府津小五年）　○野良帽子　中島初江（富水小五年）　○夜間用はきもの　小沢昭二（城内小六年）　○ハンカチ靴下入れ　窪倉道子（山王小六年）

◎中学生の部

○昆虫標本　浦井雅臣（城山中二年）　○沿岸定置観測　亀田隆之外四名（城南中二年）　○酒匂海岸の動物植物　酒匂中科学部（二年）

（教育研究会賞）

◎小学生の部

○きせつのこよみ　石井孝光（千代小一年）　○油はなぜ水にうくか　田代瑞枝（町田小二年）　○飼育箱で　剣持京一（国府津小三年）　○かいこの観察　はんのくさり方の研究　高橋幸子（富水小五年）　○諏訪の原府川地区の植物分布図　稲子健二（富水小六年）

◎中学生の部

○植物標本　丹沢箱根方面の植物　広川公一外二名（城南中二年）　○気孔の観察と蒸散作用　稲沼貴美子（千代中二年）　○ちよう類標本　栗原国雄（白山中三年）

参観者でにぎわう創意工夫展と科学展

人権特設相談所の開設

10月16日

午後1時から
午後4時まで

城内高窓梅会館

防火管理者の講習会

＝該当者はぜひ受講を＝

さる四月一日から施行された消防法の一部改正により、本市には防火管理者を置かなければならない映画館、学校、旅館、工場、病院等（五十人以上の者が出入りしたり、勤務する施設）が、現在二百九十七もあります。

ところでこの制度では、原則として法にもとづく一定の資格がなければ防火管理者になることができませんが、暫定措置として資格がないものでも昭和三十七年三月三十一日までは、消防本部に届け出れば管理者としての業務を行なうことができるようになつております。

このため、現在本市で資格のないまま防火管理者に選任されているものは二百七十七名もおりますしかし、これら資格のない管理者は、法で定められた暫定期間内に、消防本部で実施する講習会を受ければ資格が得られ、引き続いて管理者としての業務を行なうことができます。

そこで市の消防本部では、このほどこれらの人達に資格をもつていただくため、次により講習会を開催しますので、該当者はぜひ受講してください。

◇　◇　◇

㈠受講者　防火管理者として、すでに選任届をすませている者で資格のない者

㈡受講申請書の受付　十月十日まで

㈢講習実施の日時　十月十九、二十日の二日間、毎日午後五時から午後九時まで

㈣会場　中央公民館

㈤その他

㋑受講料は無料です。

㋺受講者にはテキストとして「防火管理の知識」を当日会場において実費二百五十円でおわけいたします。

㋩詳細は消防本部（電話四九一九番）にお問い合わせください

精薄者巡回更生相談の結果

市では、神奈川県精神薄弱者更生相談所の協力を得て、さる九月二十日中央公民館で、精神薄弱者の巡回相談を実施しました。

これは精神薄弱者福祉法が施行されて以来、本市では初めての試みでありましたが、市民で相談に見えた方は二十九名、ほかに市外の秦野市及び下郡からそれぞれ一名ずつの来所者があり、精神薄弱者の取り扱いを真剣に心配される方々二四二人には、九谷焼きふた付き湯のみ茶わんを贈呈しました。

点字競技会の結果

市の福祉課では、視覚障害者福祉会の協力を得て、さる八月二十日から市内を三地区にわけて、それぞれ二日間ずつ点字講習会を行ないましたが、その仕上げを兼ねて九月十五日には午後一時から教育委員会会議室で点字競技会が開かれました。

当日は点字毎日新聞顧問中村京太郎氏の講演に続き、三十五名の視覚障害者がA組（初心者）、B組（熟練者）及び地区別団体競技にわかれて、日ごろの技量、あるいは講習の成果を競つた結果、次のとおり入賞がきまりました。

◇A組　①杉山佳子（入生田）　②稲毛秀男（穴部）　③市野喜一（早川）

◇B組　①清水健男（幸）　②増田惣一（網一色）　③林利之（板橋）

◇地区別団体競技　①西部地区　②中央地区　③東部地区

保護者の多いことがわかりました。

当日は一般相談のほか、心理学的判定及び医学的判定も行なわれて、個々の精神薄弱者について家族の方々にどんな処置をしたらよいか今後の更生福祉につきいろいろな指導助言が行なわれました。

なお、今回相談にお見えにならなかつた方も今後の巡回相談のおりに、相談されるよう、またいつでも市の福祉事務所では相談に応じておりますから、ご利用くださるよう望んでおります。

さかなの生食は危険

好塩菌による食中毒

最近各地で病原性好塩菌による食中毒の発生が目立つてまいりました。

これらの多くは、魚介類特にあじ、たこ、いかなどを生で食べたのが原因となつております。

しかし、こればかりでなく鮮度の低いものや不衛生に取り扱われたものを知らずに食べて、中毒を起こしたものもおります。

好塩菌による中毒症状は、汚染された食物を食べてから十数時間後に現われます。

上腹痛や吐き気に伴いはげしい下痢を起こすのが特徴です。熱は三十七、八度になりますが、これらの症状は普通二、三日でなおります。

もしこのような食中毒にかかつたときは、すぐに近くの医師の診断を受けると共に、患者の吐き物、便等のほか、原因と思われる食べ残した食物をすぐに保健所へ届けてください。

いずれにしてもこの食中毒は、これからが発生しやすい季節です。

一般家庭の主婦はもちろんのこと、これら食品を扱う方々は、ぜひ次のことを守り、食中毒患者を出さないようくれぐれも注意していただきたいものです。

①魚介類は、きれいな水でよく洗つて調理すること。

②魚介類を買つたときは、できれば冷蔵庫等で早く冷却して、好塩菌の増殖を防ぐこと。

③好塩菌は、熱に弱いので、煮たり、焼いたりして、よく熱をとおして生食をさけること。

④調理台（まな板）、庖丁、うつわ、ふきんなど魚介類にふれやすいものはよく洗うか、熱湯消毒をすること。

戦没者合同慰霊祭

新たに四柱を合祭

10月17日執行

毎年行なわれている小田原市戦没者の合同慰霊祭が、ことしもさる十月十七日午前十時から城山公園内の慰霊塔前で、市連合寺院団の奉仕により執行されます。

ことしの慰霊祭では、すでに合祭された明治以降の戦没者と戦争犠牲者に、大平洋戦争の未帰還者で最近その死亡が確認された四柱を新たに加えて、二、六四四柱の供養が行なわれます。

当日は、遺族、来賓、関係者など約三千人の参列が予定され、午後は慰霊塔前の仮設舞台で、海上自衛隊横須賀音楽隊の特別演奏のほか、浪曲、万才、落語等の演芸が催されます。

10月の納税

市民税
県民税　第3期分

納期限10月31日

税金はぜひ納期内にお納めください。

第8回小田原市民文化祭

10月22日～11月29日

主催
小田原市・小田原市教育委員会
各種文化団体

実業団が男女とも優勝

地元城内高が一位に

＝実業団・学生対抗陸上＝

招待女子四百リレー

秩父宮賜杯第一回実業団、学生対抗陸上競技大会は、快晴に恵まれた九月二十四日午前十時から秩父宮妃殿下をお迎えして、市営城山陸上競技場で開かれました。

大会には実業団六十五人（男子四十五、女子二十）、学生軍六十三人（男子四十五、女子十八）の選手が出場。競技は午前十時三十分のハンマー投げを皮切りに、男子十九種目、女子九種目にわたり熱戦が展開されましたが、三十四、五度を越す残暑と向い風にわざわいされて、期待された日本記録も出ずに終わりました。

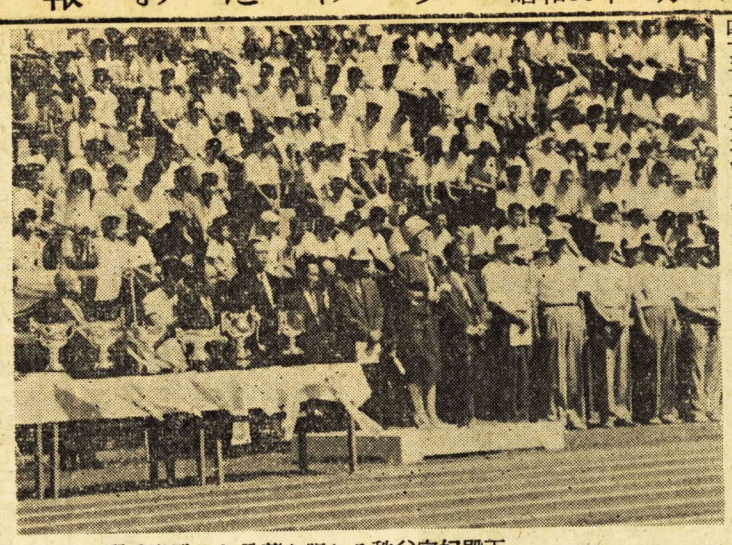
しかしハンマー投げで岡本登選手（旭化成）が63㍍01を投げ、女子走り幅とびで伊藤文子選手（リツカーミシン）が5㍍96をものにしたほか、女子八十㍍ハードルで依田郁子（リツカーミシン）、福田昌子（大昭和）の両選手がともに11秒6をマークしたのが目立ちました。

得点では実業団が総合、男女ともに優勝し、秩父宮賜杯、総理、文部、厚生各大臣杯を獲得。また優秀選手賞として岡本登選手には日本実業団陸上競技連合会長杯、伊藤文子選手には日本学生陸上競技連合会長杯がそれぞれ授与されました。

招待競技には県下の中、高校から男女二十五チームが参加しました。

中学校では、男子八百㍍リレーに出場した城山中が1分43秒5で五位、女子四百㍍リレーに出場した城山中は57秒2で四位となり、いずれも上位入賞を逸しました。

また男子高校八百㍍リレーでは、桜丘高校（横浜）が1分30秒1の本年度全国高校最高記録を出して一位となり、小田高チームは惜しくも二位となりましたが、女子高校四百㍍リレーでは地元城内高校が52秒8で一位となり、観衆をわかせました。



選手激励のお言葉を賜わる秩父宮妃殿下

（上）三千㍍障害（下）招待高校女子四百㍍リレーで優勝の城内高アンカー伊東さんのゴール

健康優良児きまる

波多野君など12名

ことしの健康優良児をきめる審査会は、市内の小中学校の最高学年から選ばれた男女代表五十六名を集めて、さる九月九日本町小学校で開かれました。

この審査会には、市内各学校の校医、歯科校医さんをはじめ、耳鼻科や眼科の先生のほか、学校薬剤師、保健体育担任の先生方が立ち会い、代表児童生徒ひとりひとりについて、健康診断や体力測定、保健知識のアーチブメントテストなど、あらゆる角度から厳重な審査が行なわれた結果、次の十二名が入選しました。

◇小学校の部

男子①鍔行英紀（町田小）②横川康夫（芦子小）③星野信幸（千代小）

女子①大野登美江（大窪小）②市川登美江（国府津小）③杉田かよ子（足柄小）

◇中学校の部

男子①波多野新治（千代中）②尾久義昭（国府津中）③村上誠之（白山中）

女子①林直澄（白山中）②竹本多恵子（千代中）③石塚叶枝（国府津中）

入選作品きまる

統計図表コンクール

さきに実施された第三回小田原市統計図表コンクールには、市内小・中学生から作品一四三点（小学生一一一、中学生三二）の応募がありましたが、このほど県、市の上位入選作品が次のとおりきまりました。

入選作品　◎県特選○県入選

◇小学校の部（市一席）△◎あめのひのかさはどんないろ＝片浦小一年　中島朱実、高橋節子（市二席）△わたくしたちのかつているどうぶつ＝城内小一年　よしおかゆうじ　△おひさまでわくおふろのおんど＝片浦小一年　大津千代美、脇山宗信　△むしばしらべ＝新玉小二年　鈴木清美（市三席）△はみがきしらべ＝片浦小一年　鈴木敏治、稲葉祐次　△ようきしらべ＝新玉小二年　小沢有子　△片浦ぶらくのでんきぐしらべ＝片浦小三年　鈴木久美子、鈴木初美　△水からお風呂がわくまで＝町田小四年　松尾和子　△○けがの発生＝片浦小六年　瀬戸登世江、青木秀江

◇中学校の部（市一席）△○傷疾病状況＝白山中三年　野口態＝白山中三年　上垣康子、熊沢浩、井上隆次、加藤健琴枝、石塚卓子（市二席）ふえる小田原駅の乗降客＝城南中二年　青木博志、亀田隆之　△小田原の水産業＝城南中二年　播摩美恵子、中村順子　△伸びゆく小田原の工業＝城南中二年　石山幸子、藤井和子（市三席）△神奈川一の小田原みかん＝城南中一年　小笠原秀和、古谷一治　△小田原のかまぼこ＝城南中一年　福田恭子、亀田多美江　△小田原市小中学生の寄生虫とり反応＝城南中二年　広川公一、天野雄二　△○関東唯一の天守閣小田原城＝城南中二年　鈴木カネ子、張月栄　△結核から体を守ろう＝城南中三年　大和田信行

△（県のみ入選）白山中生徒の外校生徒のテレビラジオ利用の実態＝白山中三年　野口浩、井上隆次、加藤健

例年開催されてきた尊徳祭（第六回）が本年も、先生のご命日にあたる九月二十日桜井の尊徳記念館で行なわれました。当日は、午前十時からぼだい寺の善栄寺で、鈴木市長をはじめ、地元桜井報徳会員等多数が参列して、法要と墓参が行なわれました。引き続き、午後は一時から地元の報徳婦人会や、子供会、さらに富水婦人会の協力を得て、民踊、劇、合唱などの発表のほか、とくに本市江之浦出身のビクター専属歌手椿五十江さんの歌謡曲があり、盛会りに終わりました。

なお、本年は前夜祭として前日の十九日小田原史談会員四十名が参加して遺跡めぐりや、遺品の見学を行ない、夜は尊徳先生をしのぶ座談会が開かれました。

（写真は二宮尊徳先生の墓に参拝する鈴木市長）

第六回尊徳祭

ぼだい寺で法要

遺徳をしのび座談会等も

市民の声

さる九月八日開催された自治会連合会長、広報委員長合同会議で各地から活発な要望事項が提出されましたので、そのうちのおもなものをご紹介いたします。

◇　◇　◇

◎　小八幡四丁目からの申し出であるが、ごみの集かいの回数が少なくて困っている。もっと回数を増加してもらえないか。表通りは月一回～二回、裏通りはごみ出ない月もある。（酒匂地区）

回　ごみの集かいで月一回はまことに少ない。お困りであったと思う。九月は二回集かいにまいることになっております。今後毎月三回の集かいができるように努めます。（衛生課長）

◎　酒匂八丁目よりの申し出であるが、鴨宮へ抜ける県道の舗装のつづきは継続して工事をやってもらうよう県土木の方へ市から話しをしてもらいたい。（酒匂地区）

回　鴨宮へ抜ける県道の舗装は県よりひきつづき実施したい旨の通知がありましたが、市では現在のような曲つたものでなく、一部を改修した上で舗装してもらうよう申し入れてあります。（土木課長）

◎　板橋旧道の舗装はすんでいるが、側溝の甲ぶたをつけてほしい。（大窪地区）

回　目下製作中であるから近々設置することが出来ると思う。（土木課長）

◎　砂利トラックが毎日二十トン位の過重積載で通る。とくに、ダンプカーは沢山に積載して通るので、この制限をしてもらいたい。

このため、道路は側溝のそばまでえぐれ、沿道の市民は、大変に迷惑している。（二川地区）

回　過重積載については業者にしばしば警告を与え、取り締りを行なっておりますので最近は少なくなっております。ダンプカーに積載の場合土砂は軽いが、砕石、小砂利は同じ積載方法でも過重することもあるので指導取り締りを強化します。

多古の道路は狭く、車両のすれちがいが不能の場合もあるが、まわり道もないので通行止をすることが出来ない。県土木へ早期解決するよう申し込んであります。（小田原警察署長）

◎　過日の災害で坊所の堤防が決壊したので早く修理してほしい。（久野地区）

回　国の補助を受ける手続きをしているので、これが決まり次第工事にかかります。（土木課長）

市政クイズ

みんなで考えましょう　第41回

みんなに楽しみながら市の行政をよく知っていただくため、月一回市政クイズを行なうことにいたしております。奮つて応募してください。

問題

最近□□で病原性好塩菌による食中毒が□□てまいりましたが、これからもなお発生し易い□つであるといわれております。これは海水程度の□□分に発生する□であり、魚介類とくにあじ、たこなどを□で食べたり、□□の低いもの、□□□に取り扱われたものを食べて多く起こしております。

この□□は汚染された□□□を食べてから十数時間で□われ、はげしい□□□や吐き気を伴う□□□を起こしております。このような場合医師の診断を受けることはもちろんですが、食べ残りを□□□食物へ届けることも必要です。この□□には□□や洗うこと、□□して、□□の際きれいな水で□□□等をよく洗うとか、□□を防ぐこと、調理台、□□□消毒をすることが大事なことであります。

応募規定

1　賞金は二千円、正解者二名以上のときは等分し六名以上のときは抽せんにより五名に等分する（正解者のないときは次回に加算）

2　問題中□は当用漢字（補正漢字を含む）で記入する。

3　応募用紙は官製ハガキ又はハガキ大用紙

4　応募者の住所、氏名職業を明記する。

5　応募は一人一通に限る。

6　締め切りは十月二十日（二十日消印あるものは有効）

7　あて先は市役所庶務課広報文書係

8　解答及び正解者は次号の本紙上に発表する。

（注意）応募者は小田原市民に限る◎市の職員とその家族は応募できない。

第40回の結果

応募者一三一名のうち正解者は二七名でありましたので、抽せんの結果次の方々に賞金を四百円ずつさしあげることになりました。

最上　武子　国府津二、五九九
高橋　愛子　蓮正寺三四一
日比野タカ子　新玉四ノ六四四
鎌田トモ子　千代一〇四
加藤千代子

第40回の正しい答

毎年夏から秋にかけては伝染病が多く発生する時期です。これは暑さのため身体が疲労したり、胃腸を害したりして、抵抗力が弱まるためでありますが、恐ろしい日本脳炎の場合には、これに蚊の発生とウイルスの繁殖が大きな原因ともなつております。とくに、本年の夏は高温多湿で蚊の発生がものすごく今から日本脳炎の流行が心配されております。この日本脳炎は十歳以下のこどもがウイルスによるせき髄の障害で運動障害や知能障害などの後遺症がのこるばかりでなく致命率は三〇～四〇％の高率です。恐ろしい日本脳炎から大事なお子さん達を守るためには、まず第一に蚊の撲滅をはかることが先決です。そして過労や睡眠不足、暴飲暴食を避け、休息と予防注射を受けることが大切です。

お互いに交通規則を守ろう

秋季全国交通安全運動

10月11日～10月20日

◇目　標◇

① 歩行者の安全確保
② 正しい運転の励行
③ 無免許運転の禁止
④ 雇用者等の義務観念の向上
⑤ 交通環境の整備

小田原警察署・小田原地方交通安全協会